生成AI研究会

オリジナルチャットボット作成実践



福井県立大学 情報センター 准教授

村田知也

今日の流れ

- 1. 生成AIの最新動向
- 2. 完全フリーでオフライン実行できるチャットボットの紹介
- 3. Difyを使った業務用チャットボットアプリの開発
- 4. Dify連携や拡張性について考察
- 5. 最新生成AIをビジネスに取り組むには

今日、身につけられる内容

- 最新の生成AI技術について理解する
- オフラインで実行できるチャットボットのメリット・導入要件を知る
- Difyを使った業務用チャットボット開発の基本フローを学ぶ
- 自社ビジネスにAIを導入するための具体的ステップを考えられる

まずダウンロードしてください

Windows OS: https://xgf.nu/Zpdxe

Mac OS: https://xgf.nu/4G71f

パスワードは「1234」です

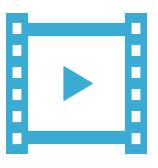
生成AIとは?

引用: https://aismiley.co.jp/ai_news/what-is-generative-ai/https://aws.amazon.com/jp/what-is/generative-ai/

生成人工知能 (生成 AI または gen AI) は、会話、ストーリー、画像、動画、音楽などの新しいコンテンツやアイデアを生み出すことのできる AI の一種











音楽

画像

動画

プログラミング

文章

生成AIの仕組み(概略)

引用:https://aismiley.co.jp/ai_news/what-is-generative-ai/

STÉP1

• **学習用のデータ**をAIに与える

STEP2

AIに与えられた学習用のデータから特徴を学ぶ

STEP3

• AIが学習したデータの特徴から、全く新しいコンテンツを生成する

STEP4

生成したコンテンツをユーザーに提供する

「過去の学習データから『予測』しているため、必ずしも正確とは限らない」

文章AI

ChatGPT

OpenAIが開発した対話型AIで、人間のような文章を生成し、さまざまな質問や作業に対応する

Gemini

Google DeepMindが開発した多機能AIモデルで、文章、画像、音声、動画、コードなど多様なデータを処理し、高度な推論能力を備えている

ChatGPTに聞いた 「福井県立大学のPR文 I

福井県立大学のPR文を作って

福井県立大学 PR文

福井県立大学は、地域と世界をつなぐ学びの拠点として、未来を切り拓く人材を育成する公立大学です。実践的な教育と最先端の研究を通じ、社会課題の解決に貢献することを目指しています。

特色ある教育と学び

本学では、経済学、海洋生物資源学、生物資源学、看護学、社会福祉学の各分野で専門性の高い教育を 提供。少人数制のきめ細やかな指導により、理論と実践をバランスよく学ぶことができます。また、産 学官連携による実践的な学びを推進し、地域社会とのつながりを大切にしています。

充実したキャンパスライフ

福井県の豊かな自然に囲まれたキャンパスは、落ち着いた環境で学びに集中できる理想的な空間です。 最新設備を備えた研究施設や充実した図書館、多彩なクラブ・サークル活動を通じて、学生同士の交流 や自主的な学びが広がります。

地域とともに、世界へ

福井県立大学は、地域社会との連携を大切にしながら、国際的な視野を持つ人材の育成にも力を入れています。海外研修や留学プログラムを通じて、グローバルな舞台で活躍できるスキルを身につけることが可能です。

福井県立大学で、あなたの未来を切り拓く学びを始めませんか?

画像AI

• DALL·E

OpenAIが開発した画像生成AI、ChatGPT に指示をすれば、ユーザーの文章に基づいて高品質な画像を作成する

Stable Diffusion

Stability AIが開発したオープンソースの AIで、文章から高精細な画像を生成する。様々なユーザーが改良している

DALL·Eに描かせた 「浮世絵風の大学」



音楽AI

Suno Al

ユーザーがテキスト入力からリアルな歌声と楽器を組み合わせた楽曲を生成できるAI音楽作成ツール

AIVA

AIVA Technologiesが開発したAI作曲家で、 多様なスタイルの音楽を自動生成し、作 曲家やクリエイターの創作を支援する

Suno AIに曲を作らせる

「大学生活をテーマにした、元気で キャッチーなポップソング」



動画AI

• Sora

OpenAIが開発したテキストから高品質な動画を生成するAIモデルで、複雑なシーンや多様なキャラクターを動画として作成できる

Runway

AIを活用した動画生成・編集ツールで、 テキストや画像から動画を作成し、豊富なAIモデルと直感的なインター フェースでクリエイターを支援する

Soraに動画を作らせる

「空に浮かぶ巨大な城、ジブリ風の 幻想的な風景」



最新の動向:中国における低コストLLMの台頭

- 中国のAIスタートアップであるDeepSeekが開発した
 「DeepSeek-R1」は、約550万ドルという低コストで訓練され、
 OpenAIの最新モデルに匹敵する性能を持つとされている
- ・オンラインのサービスでは、**全ての情報が中国政府に送付される** プログラムが組み込まれていたり、**不正にアメリカの最先端AI チップを使用**したり、開発情報の信憑性には懐疑的な意見もある
- ・ 尖閣諸島が日本の領土か尋ねたところ「中国固有の領土」とする中国側の見解による答えが返ってきた



最新の動向:AIエージェント①

AIエージェントとは、**自律的に作業を実行**し、人間の代わりにさまざまな業務を行うAIシステム

- 情報を理解する
- 計画を立てる
- 実際に行動する
- 行動の結果から学習をする
- 知識やツールを利用する
- 重要な情報を記憶し、判断に利用する

ひとつのAIが 自立して動く

例:プログラミングのサポートを自律的に助けるClineというツール

最新の動向:AIエージェント②

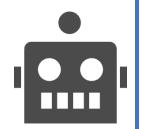
将来的にどうなるのか? |• AIエージェント(将来)

• チャットAI

大阪に出張する 手段を教えて

> 新幹線・飛行機・ バスがあります





大阪に出張する 手段を教えて

予算や移動時間は?

○円○時間

新幹線が良さそうです。 予約しますか?

はい

出発日時を教えてください



実際に予約してクレジットカード 決済画面へ

最新の動向:子ども家庭庁のAI

- 虐待が疑われる子どもの一時保護を巡り、AIにその必要性を判定させるシステム
- ・約10億円をかけて開発を進め、 最終的な判断を下す、児童相談 所の職員を補助する役割が期待 されていたが、テスト段階で判 定ミスが6割に上り、AIは虐待 の判断にはなじまず、実用化は 困難と結論付けた





ダウンロードが終わってたら

オフラインローカルチャットAIを使ってみる

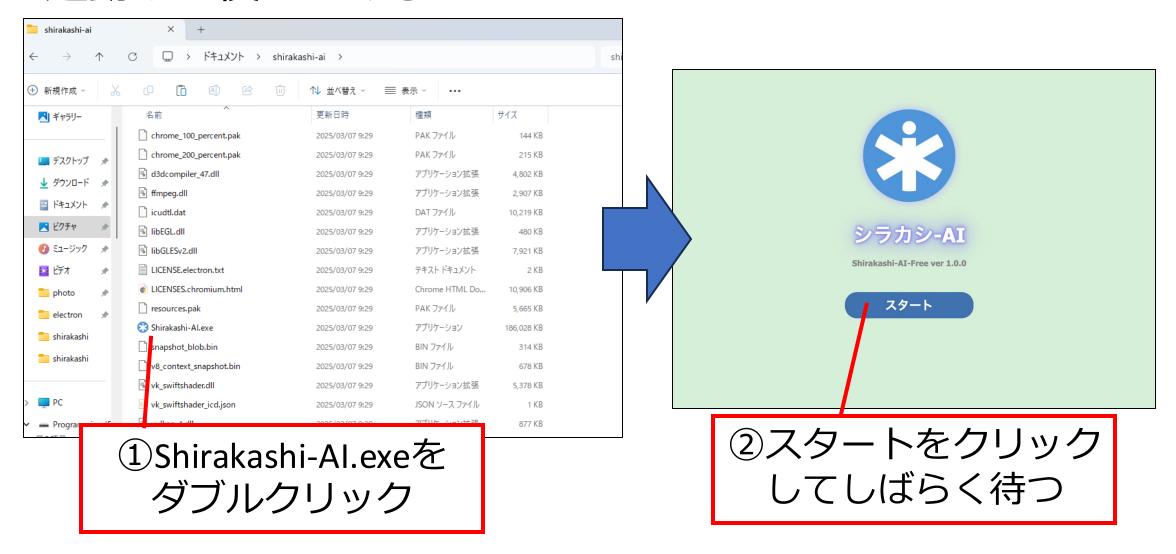
シラカシAIを使ってみる①Windows OS

zipファイルを展開

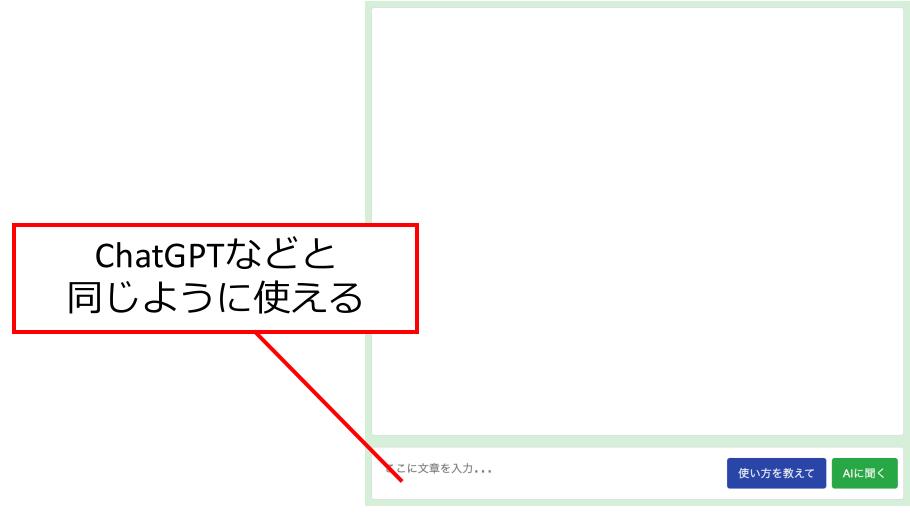


シラカシAIを使ってみる②Windows OS

起動して使ってみる



私が開発しました



わからないことが あったら聞いてください

ローカルAIとクラウドAIのチャットボットの概要

ローカルAI

- インターネットに繋がずにあらか じめダウンロードしておいたAIモ デルを使う
- 入力された情報は自分のパソコン 上で処理され、外部に漏れること はない
- 動かすPCのスペックに依存し、精度の高いAIは動かせないこともある(ダウンロードできるAIはほぼ全て無料)

クラウドAI

- **インターネットを経由**してOpenAl などのクラウド上にあるAIモデル を使う
- サービスによって、入力された情報はAIに学習されてしまい、外部に漏れる可能性がある
- 動かすPCのスペックに依存しない が、精度の高いAIは高額になることもある

ローカルAIのメリット・デメリット

メリット

- データセキュリティ: 社外にデータを出さずに済む。機密性の高い情報を扱いやすい
- ネットワーク依存が少ない:オフライン環境でも利用可能
- ランニングコストが低い:大量アクセスでも追加の課金がない

デメリット

- 導入・運用ハードルが高い:スペック確保、モデル更新、メンテナンスに専門知識が要る
- モデル精度が最新に追随しにくい: 大規模モデルは巨大ファイル&頻繁なバージョンアップがあり、追従が大変

クラウドAIのメリット・デメリット

メリット

- 導入が容易: サイン アップ&APIキー取得だ けで利用開始。ハード ウェアも不要
- 連用コストの見通しが立てやすい:月額課金やAPIコールごとの料金体系など、初期費用を抑えられる

デメリット

- データセキュリティの懸念: クラウドに情報を送るため、機密データを扱う場合は十分な対策や契約条件の確認が必須
- 利用料金が増加しやすい: APIコール数やユー ザー数が増えると従量課金が膨らむ可能性
- 通信環境への依存: インターネット接続が必須、速度や安定性が問題になるケースがある
- サービス変更リスク: 仕様変更やモデルの停止、価格変更などに左右されやすい

オリジナルのチャットボットは

自分で手軽に作れる

Difyを使ってみる

チャットAI開発の基本フロー

Difyを使う準備①

Difyを検索



Difyを使う準備②

新規登録してログイン



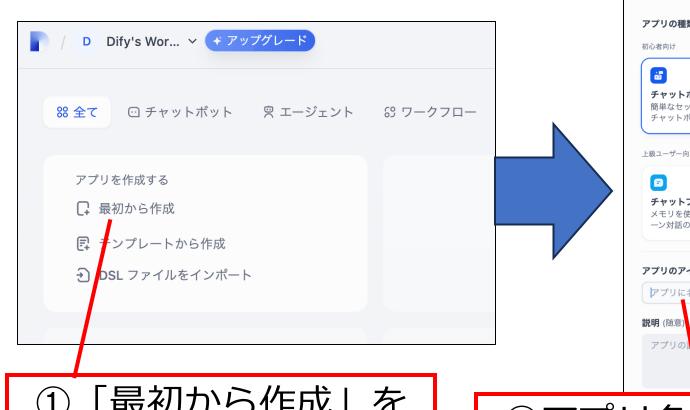
①Googleアカウントなどで 新規登録



②ログインすると この画面になる

Difyで簡単なチャットボットを作る①

チャットボットアプリを作る



①「最初から作成」を クリック



Difyで簡単なチャットボットを作る②

AIモデルを設定する

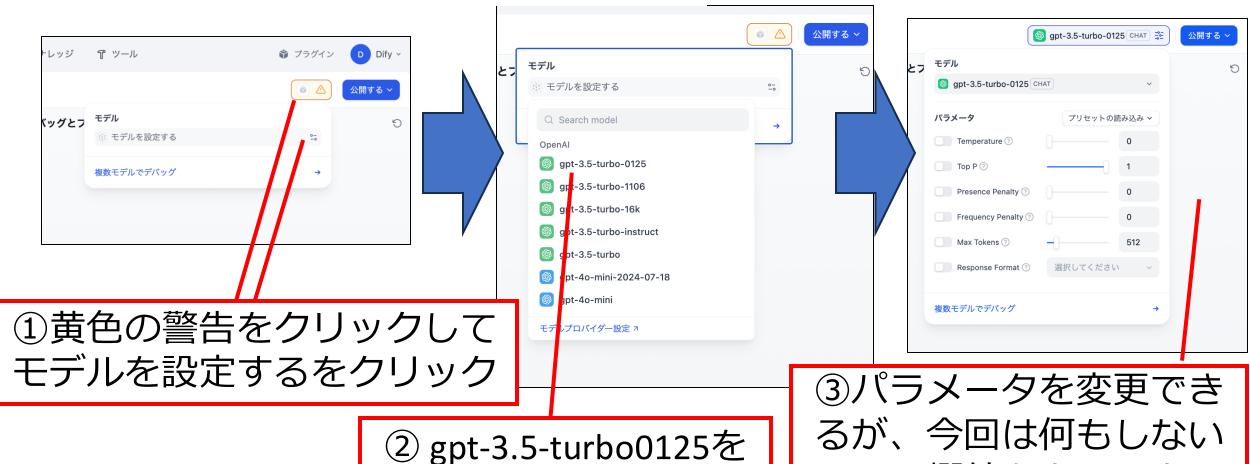


①「設定に移動」をクリック

②OpenAIをクリックして インストールして 閉じる×をクリック

Difyで簡単なチャットボットを作る③

gpt-3.5-turbo0125モデルを使う

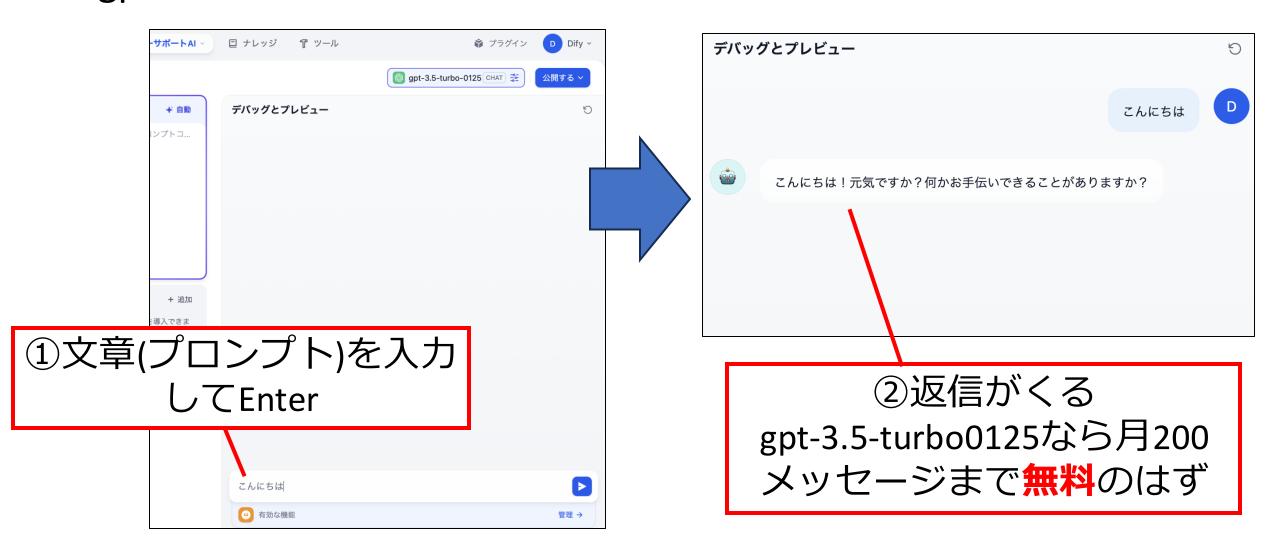


クリック

ので欄外をクリック

Difyで簡単なチャットボットを作る④

gpt-3.5-turbo0125モデルと話す



オリジナルのチャットボットが作れる①

AIに役割を指示できる

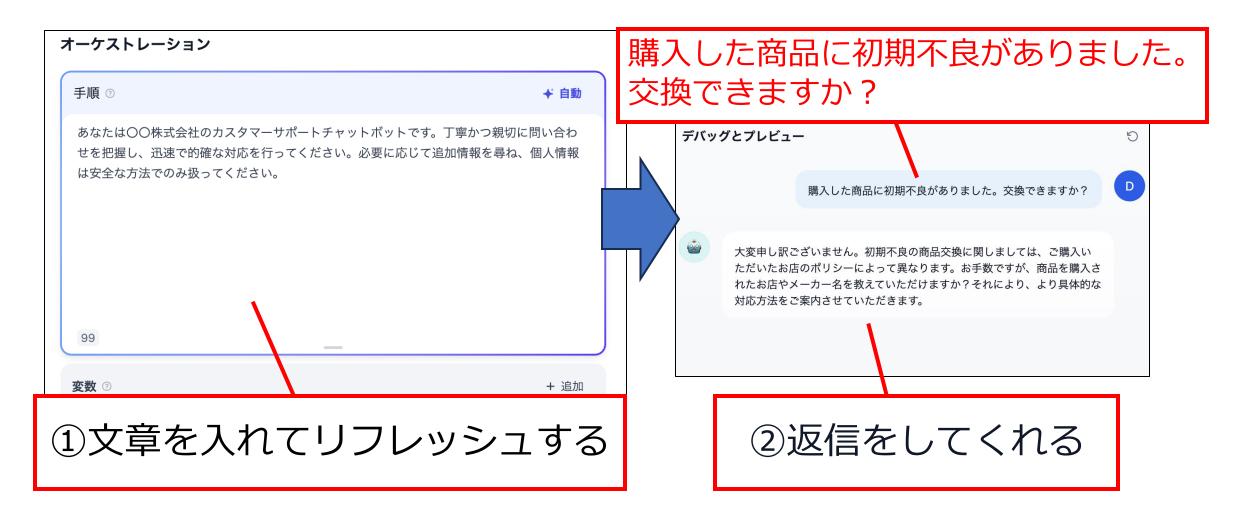


あなたは〇〇株式会社のカスタマーサポート チャットボットです。丁寧かつ親切に問い合わせ を把握し、迅速で的確な対応を行ってください。 必要に応じて追加情報を尋ね、個人情報は安全な 方法でのみ扱ってください。

①ここにチャットボットの**役割、 振る舞い、返信の仕方など**を入力 (システムプロンプト)

オリジナルのチャットボットが作れる②

リフレッシュして再び会話する



作ったチャットボットの保存

公開するから更新



①公開するをクリックして 更新をクリックで保存



②様々な方法でチャットボット を公開して実行できる

公開をやめたい場合

URLを無効にする



Difyの概要

- オープンソースのLLM(大規模言語モデル)アプリケーション開発プラットフォームであり、ノーコードでAIアプリケーションを構築するための多彩な機能を提供している
- Difyの利点として、開発時間の短縮、コスト削減、高いカスタマイズ性がある
- ・活用例として、チャットボット、FAQシステムの構築、 コンテンツ生成アプリの開発など

Difyの料金

サンドボックス	プロフェッショナル	チーム
無料	\$59(約8,800円)/月	\$159(約24,000円)/月
200メッセージまで	5,000メッセージまで	10,000メッセージまで
メンバー1人まで	メンバー3人まで	メンバー無制限
アプリ10個まで	アプリ50個まで	アプリ無制限
文章の埋め込み5MB	文章の埋め込み200MB	文章の埋め込み1GB
アップロードできる ファイル50	アップロードできる ファイル500	アップロードできる ファイル1000

Difyをローカルで使う場合

・プログラミングの知識のある人向け

- Difyのソースコードをgitからダウンロード
- Dockerを立ち上げて、そこにDifyをローカルサーバトで実行する

書いてある意味がわからない人は難しいと思います

Dify連携や拡張

様々なツールと連携 ナレッジを使って拡張してみる

Difyの連携できるツールの例

検索

Google Bing AWS ...

• 画像

DALL-E、Stable Diffusion...

• 生產性

WebScraper、Code Interpreter...

•ユーティリティ

QRCode、Google Translate...

・ソーシャル

Wikipedia、Slack...

• ファイナンス

動画

YouTube、 D-ID

旅行・天気

Autonavi. Open weather query

Difyの新規作成からワークフローの機能の中で使える

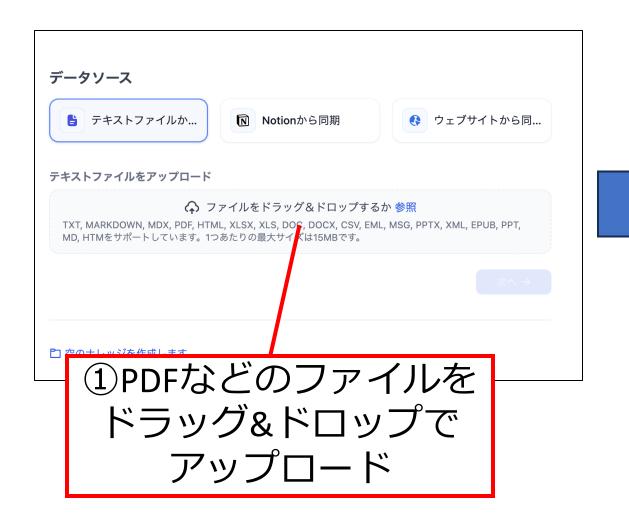
ナレッジを使った拡張をしてみる①

ナレッジを追加する



ナレッジを使った拡張をしてみる②

ファイルをRAGとしてナレッジにアップロード





②ホームページからダウン ロードしたダミーのカスタ マーサポートのPDFを入れて 次へ

ナレッジを使った拡張をしてみる③

設定は後からでも変えられる



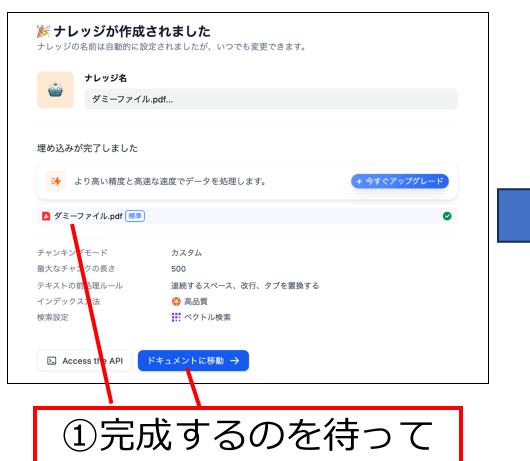
①設定は初期のまま 下へスクロール



②保存して処理をクリック

ナレッジを使った拡張をしてみる(4)

完成するのを待って、利用可能か確認



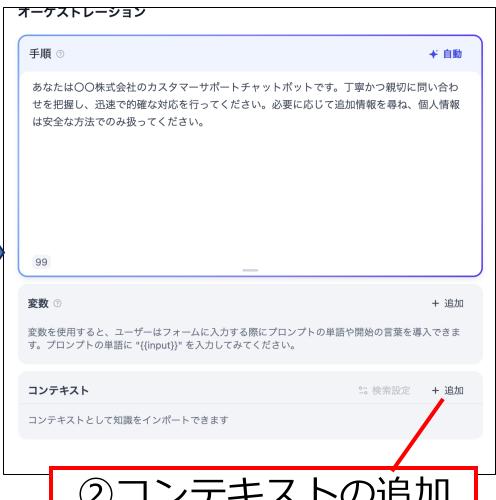
ドキュメントに移動



ナレッジを使った拡張をしてみる⑤

アプリに戻る

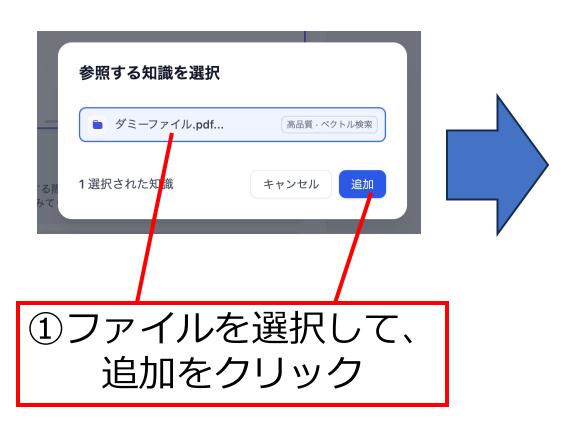




②コンテキストの追加 をクリック

ナレッジを使った拡張をしてみる⑥

ファイルを追加する

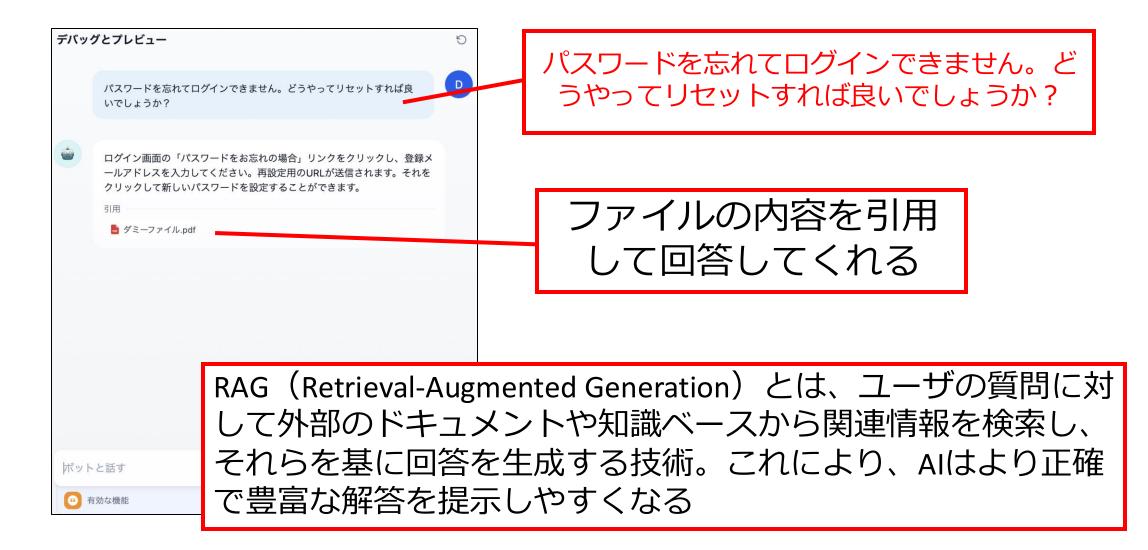




②ファイルが追加される

ナレッジを使った拡張をしてみる⑦

ファイルの内容を聞いてみる



Dify導入について考察しよう

自社や自分のプロジェクトに当てはめてアイデアを考える

アイデアの例

 自社でDifyを導入するとしたら、どんなシステム連携 や拡張を考えるか?

•連携に際して何がハードルになるか?その解決策は?

ビジネス価値を最大化するためには、どの組織・部署 が主導すべきか?

今日はここまで

最新生成AIも含めて、ローカルAI、クラウドAIを自社のビジネスに導入するにはどういったものが良いか?

研究会なので

一緒に話し合ってみませんか?